

事前申込制・入場無料
モニター観客
大募集!

Vol.3 紅葉坂 プロジェクト

シリーズ
新しい
視点
Series
New Perspective



ワークインプログレス 〈公開プレゼンテーション〉

2024年3月23日(土) 14:30開場 / 15:00開始

Series "New Perspective" Momijizaka Project Vol.3
Work-in-progress
Saturday, 23 March 2024, 3:00 p.m.
Kanagawa Prefectural Music Hall
*Advance reservation required / Admission free

木のホール

神奈川県立音楽堂

#1
おんがくが「ぬ」とであふるとき
プレゼンター 小倉 美春 & 上條 晃

#2
マキシマム電子合唱団
プレゼンター マキシマム(磯部英彬、星谷丈生)

音楽家が発信する表現のあり方とは? 歴史ある音楽堂の
空間で聴衆がいかに新しい音楽に出会うか? 双方向の可能
性を広げる企画公募プログラム「紅葉坂プロジェクト」。

音楽堂開館70周年の記念すべきVol.3に向けた応募企
画の中から、3人の企画委員によって採択された2つの企画
のエッセンスをご覧ください。

明日を担う才能とのコミュニケーションで、音楽の未来を一
緒に創りませんか?

[企画委員]



委員長 沼野雄司
音楽学者
神奈川県民ホール・
音楽堂芸術参与



委員 濱田芳通
古楽アンサンブル
《アントネッロ》主宰
指揮、リコーダー、コルネット



委員 湯山玲子
著述家
プロデューサー
おしゃべりカルチャーモンスター

ワークインプログレスではこんなことを行います!

- ① 2組のアーティストによる企画案のプレゼンテーション・演奏
- ② 企画委員によるコメント
- ③ モニター観客⇄アーティスト 質疑応答
モニター観客のみなさまには、プレゼンテーションと演奏を聴いたうえで、
質疑応答へのご参加、モニターシートへのご記入をお願いします。

[申込方法] ※要事前申込 全席自由・入場無料

1月20日(土)受付開始(チケットかながわにて取扱)

チケットかながわ 0570-015-415(10:00~18:00)

<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>

神奈川県立音楽堂窓口(13:00~17:00 月曜休)

神奈川県民ホール窓口/KAAT神奈川芸術劇場窓口(10:00~18:00)

※未就学児入場不可

※チケット発券手数料のお客様負担はございません。配送をご希望の場合は、送料434円を申し
受けます。



主催:神奈川県立音楽堂
(指定管理者:公益財団法人神奈川芸術文化財団)
助成: NOMURA 野村財団
公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

横トク
へ行く!
2024.
3.15-6.9



事前申込制・入場無料
モニター観客
大募集!

Vol.3 紅葉坂 プロジェクト

シリーズ
新しい
視点
Series
New Perspective



#1 おんがくが「ぬ」とであふとき

「ぬ」、私たちはひとりひとり違う「ぬ」をもつ
「ぬ」、それはどこか切迫した緊張をもつ
「ぬ」、それはゆっくりとした大きな渦を描く

そんな古代語の「ぬ」が音楽と出会うときを、
作曲家小倉美春が掬ってみました。
「ぬ」を書いてみましょう。「風立ちぬ」の「ぬ」です。
「ぬ」の記憶に入り、「ぬ」の息づかいを聴き、
たくさんの「ぬ」を音楽をとおして生きてみる、そんな企画です。

※ワークインプログレス出演：小倉美春、上條晃



あなたの「ぬ」を教えてください！
あなたの「ぬ」が採用されるかもしれません！
<https://forms.gle/zKQ9mc6DocKNXas98>
そしてあなたの「ぬ」を当日ホワイエで書いてください！

小倉美春
Miharu Ogura



ドイツ・フランクフルトを拠点とするピアニスト・作曲家。2023年メシアン国際ピアノコンクールにて第2位・メシアン作品最優秀演奏賞を受賞するなど、ピアノと作曲の両方で入賞多数。2024年にはラジオ・フランス及びヴェネツィア・ビエンナーレからの委嘱作品を発表予定。2023年度ロームミュージックファンデーション奨学生。

上條晃
Akira Kamijo



東京音楽大学付属高等学校国語科教諭。歌人。東京外国語大学外国語学部(ドイツ語専攻)、同大学院地域文化研究科修了。研究課題は一般教科と音楽の架橋。「古代語の「ぬ」と演奏」東京音楽大学付属高等学校における国語教育の試みと展望 II—(東京音楽大学研究紀要第46集)。短歌を馬場あき子に師事。

委員コメント

ひとつのひらがなの中に、日本と西洋をめぐるアイデンティティの闘争、時間と空間といったシリアスな問題を封じ込め、さらに観客をも巻き込んだ多層的なリアリゼーションが計画されている。本当に面白く充実したものになるのかは、今後のブラッシュアップ次第。(沼野)

何より、日本人としてのアイデンティティとしての「ぬ」という着眼点が興味深い。西洋音楽における日本の在り方に留まらず、ここから日本の本来の姿の核心に迫って欲しい。(濱田)

「ぬ」という発語を深掘りし、音楽的なイマジネーションを加えて、すでに人々に膨大な「経験」がある一音を通じて世界を感じるクリエイティブな試み。漫画「北斗の拳」でお馴染みの「ひでぶ」という断末魔の擬音表記に心を動かされた大衆のセンスともシンクロし、ユーモアもある。(湯山)

詳細は、紅葉坂プロジェクト特設サイトへ!



木のホール

神奈川県立音楽堂

神奈川県立音楽堂
@Kana_Ongakudo

〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘9-2 TEL 045-263-2567
<https://www.kanagawa-ongakudo.com/>

※本公演では、無料シャトルバスの運行、託児サービスはございません。
※やむを得ない事情により、公演内容に変更が生じる場合があります。

#2 マキシمام電子合唱団

マキシمام電子合唱団は、マキシمامが開発するさまざまな創作楽器を操りながら演奏するエレクトロニクスと生楽器が融合した合唱団です。合唱メンバーは、楽器演奏のエキスパート達で構成され、一人一人が歌と楽器を交互に演奏し、発声法についても演奏者それぞれの声の個性を重視した発声や、演奏者から電子音などが出るウェアラブルセンサースピーカー、特殊音律調整装置などのエレクトロニクス創作楽器を用いることで新しい表現方法を探求します。

※ワークインプログレス出演:

磯部英彬、星谷丈生、今井貴子(フルート)、高瀬真吾(打楽器)

マキシمام
Maximum



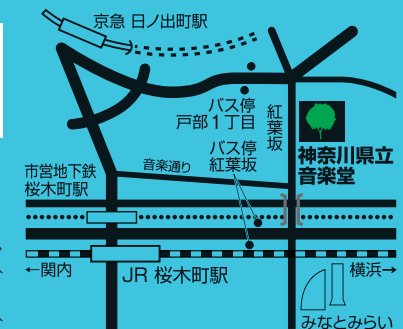
マキシمامは、作曲家、楽器製作者である磯部英彬が主催するエレクトロニクスとアコースティック楽器による可能性を探究する団体です。新しい楽器を発明、または既存楽器を改良してこれまで計8回のコンサートを開催し、様々な音楽家との協働作業を行ってきました。近年は、作曲家 星谷丈生とともにIsobe-RailやHoshiya-Boardなどを開発。また2023年8月から学校教育向けのICT活用セミナーも行っています。

委員コメント

合唱団のメンバーに電子デバイスを装着させることによって、アンサンブル、音楽・器楽、身体と機械、といった、古くて新しい概念を再検討しようとする。一歩間違えると、ただの「ゲンダイオンガク」になってしまう可能性もなくはないが、可能性の側に賭けた。(沼野)

昔のSFのように、未来を感じさせつつ、同時に人間臭い魅力を持ち合わせていると感じた。どうなるかわからないワクワク感が並外れている!(濱田)

今後の演奏形態で多分、強度を増していく予感のある合唱を、電子デバイス付き身体という「分かりやすいハイブリッド」で表現。アイデアの新規性にのみ囚われず、合唱音楽が潜在的に持ち続けている、匿名性と集団的陶醉感などの「魔力」が、この企てを経て浮き彫りになる現場を期待。(湯山)



- JR「桜木町」駅(南改札西口、北改札西口)・市営地下鉄「桜木町」駅(南1番出口)徒歩10分
- 京浜急行「日ノ出町」駅徒歩13分
- みなとみらい線「みなとみらい」駅徒歩20分